

施策1 中小企業の経営基盤の強化

基本計画
掲載頁

110～112

施策の 達成状況	B	A：順調に推移した B：おおむね順調に推移した C：進捗が遅れた	成果	「何度でも」「無料で」「結果が出るまで」「伴走型で」をコンセプトとして、無料の経営相談所「にいざビジネスサポート事業」を実施した。 また、専門家による経営コンサルティングを通じて、事業者の最大の経営課題である売上改善等のサポートを行うことができた。
			課題	にいざビジネスサポートは、事業者や起業を考えている方からのニーズが高いことから、より効果的な事業者支援を検討していく必要がある。
今後の 方向性	I	I：現状のまま継続 II：一部見直し等の余地がある III：抜本的な見直し等が必要	成果・課題を踏まえた今後の取組方針	経営コンサルティング業務は引き続き実施していくが、今後、市内事業者同士で交流が持てるイベントの実施など、にいざビジネスサポート事業として、より効果的な事業者支援を進めていく。 また、経営相談を通じて、市内事業者へのIT・DX活用などに係る事業提案や補助金の利用促進を行う。

【参考】施策領域ごとのKPI^{※1}（重要業績評価指標）

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和5年度時点 達成度 ^{※2}	所管課
経営相談及び起業・創業者からの相談件数	—	537件					600件	B	産業振興課
遊休農地面積	23,454㎡	15,145㎡					10,000㎡	B	産業振興課
就職セミナー等の実施回数	5回	6回					10回	B	産業振興課
消費生活センターにおける自主交渉率	76%	80.60%					80%	A	産業振興課

※1 KPIは「施策」ではなく「施策領域」ごとに設定しているものです。

※2 【達成状況評価について】 A：目標を上回るベースの指標値 B：目標値を達成するベースの指標値 C：やや遅れ気味

主な施策展開の進捗状況

(1) 中小企業の育成・支援体制の充実	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○ 景況や経営ニーズに即した融資や支援制度、経営相談の充実などを関係機関と連携して進めていくことにより、中小事業者の経営の安定化と経営基盤の強化を図ります。	B（おおむね順調）	金融機関と連携を図り市制度融資の利用促進に努めたほか「にいざビジネスサポート」での中小企業診断士による経営相談事業を推進し、市内事業者の経営支援を図った。	市民生活部	産業振興課
○ 起業・創業者を目指す人を対象とした、相談体制の充実や創業資金の支援に努めます。	B（おおむね順調）	「にいざビジネスサポート」経営相談を通じて中小企業診断士による起業者への創業計画に係る事業提案などや新座市新規創業融資利子補給金の利用促進に努め、相談体制の拡充や創業資金の支援を図った。	市民生活部	産業振興課
○ 中小企業の経営者の高齢化、後継者不足に対する課題を解決するため、関係機関と連携を図り、事業承継に関する相談や支援の充実を図ります。	B（おおむね順調）	事業承継支援を図ることを目的に協定を締結した関係機関との適宜意見交換や情報共有に努めたほか、市内事業者への新座市事業承継・M & A支援事業補助金の事業周知等を図った。	市民生活部	産業振興課
○ デジタル社会の進展に伴う、新たなビジネスモデルへの対応が図れるよう、中小企業のデジタル化を支援します。	B（おおむね順調）	「にいざビジネスサポート」経営相談を通じて中小企業診断士による市内事業者へのIT・DX活用などに係る事業提案のほか、IT・DX活用に資する市独自の補助金の利用促進に努め、市内事業者支援を図った。	市民生活部	産業振興課